



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2017
2.20
No.31

CONTENTS

介護福祉経営士

活動レポート Vol.1

関東支部編

2

●合格者の声

●2017年度

「介護福祉経営士」
資格認定試験案内

4

●全国介護福祉総合

フェスティバル開催決定

●「介護福祉のみらい」
作文コンクール

5

●今月の「介護ビジョン」

●今月の書籍紹介

6

INFORMATION

7

イベント掲示板

8

介護福祉経営士 活動レポート Vol.1

関東支部編

保険外サービスの 先進事例から 今後の事業展開を探る!

第5回

未来志向型介護経営研究会

「成功と失敗から学ぶ! 介護保険外サービスの実践例」



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局

☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>

制作:株式会社日本医療企画

編集・発行人:林 諄

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地
もとみやビル3階

介護福祉経営士 活動レポート

Vol.1

■近未来の介護サービス像とは

※ 近未来・・・5年後 2022年

「介護サービスはどう変わる？」

「これからの事業展開は？」

＜キーワード＞

- ・個人ニーズの変化（利用者・家族の価値観など）
- ・社会ニーズの変化（労働力人口減少・高齢社会・健康寿命など）
- ・地域包括ケアの進化・推進（医療介護連携・複合事業など）
- ・公的介護保険の削減・自費サービスの増加（混合介護も）
- ・大資本の参入、倒産、業界再編 など

関東支部
編

保険外サービスの 先進事例から 今後の事業展開を探る！

【第5回】

未来志向型介護経営研究会

「成功と失敗から学ぶ！ 介護保険外サービスの実践例」

合格者が1,000人を超え、介護福祉業界を盛り上げる介護福祉経営士。
さまざまな業種が集い意見を交わす研究会こそ、介護福祉経営士活動の醍醐味といえる。
今回はいま話題の「保険外サービス」を取り上げた関東支部の活動をレポートする。

日本介護福祉経営人材教育協会関東支部が主催する「未来志向型介護経営研究会」は、「介護経営の未来図」(経営ビジョン)を描くことを目的に、介護福祉や医療など社会保障全般に関する最新情報の共有、重要テーマに関する研究を行う研究会である。毎回テーマに沿ったゲスト講師が登壇し、情勢や課題、展望などを詳しく解説する。

2017年1月24日には、5回目となる未来志向型介護経営研究会「成功と失敗から学ぶ！介護保険外サービスの実践例」を開催。テーマは今、注目される介護保険外サービスだ。

講師には、介護保険外サービスの先進的な取り組みを展開する、株式会社エムダブルエス日高の北嶋史代表取締役、NPO法人グレースケア機構の柳本文貴代表を迎え、事例をふまえたこれからの介護サービス像について考える構成となった。

北嶋氏は、「保険内と保険外のサービスが混在するなかで、保険外サービスの提供だけを事業の柱とするのは難しい」としたうえで、「まずは、シナジーを生むサービスをつくっていくことが重要」と説明した。同社では、デイサービスを提供した後の空き時間に運動機器を用いる高齢者向けのジムを提供。また、空きスペースを中高生向けの自習室として提供するなど、既存の施設を活用し、新たなサービスとして保険外サービスを提供している。祖父母世代が介護サービスの利用対象者となる中高生をターゲットとしたことにより、メイン事業である介護保険事業の認知度向上にもつながっている。

次に柳本氏は、保険外サービスを導入するメリットとして、①保険制度の制約により作業に限界が出て職員の不満となっていること、②介護の担い手が不足していることなどの解消につながることだと指摘。今後は、さらに保険外サービスを中心に保険内と組み合わせながら展開していくという。「小手先の小さな規制緩和ではなく、幅広い範囲での参加型・共生型のサービスを展開したサービスの提供が今後はより求められる」とまとめた。

講演後は、一般社団法人C.C.netの馬場博専務理事をコーディネーターに迎え、「先進事例から読み解く、近未来の介護サービス像」をテーマに、パネルディスカッションが行われた。5年後の2022年を近未来と仮定し、個人ニーズの変化(利用者・家族の価値観など)、地域包括ケアの進化・推進、大資本の参入、倒産、業界再編などをキーワードに、「介護サービスはどう変わるか」「今後の事業展開」について、参加者からも活発な質疑が飛び交った。

介護保険外サービス

厚生労働省、経済産業省、農林水産省は、2016年3月、①高齢者のQOL向上(自立支援・介護費適正化)、②介護事業者等の保険外収入の確立(特遇改善等)を目的として、「保険外サービス活用ガイドブック」を作成した。制度・報酬改定による影響を受けない保険外サービスを提供することは、介護サービス事業者としても、経営的な意味は大きく、今後さらに広がると予測される。

受講者の声

- スケールが大きく介護業界の既成概念を打ち破ってくれそうな期待を感じた。
- 訪問に関して厳しい状況でありながら、業績を出していることに勉強になりました。
- 具体的事例が多く、理解し易かったです。シナジーからレバレッジへの発想法、参考になりました。
- 馬場さん含め、三者の考え方を同じテーマで聞けてよかった。
- 個別に1時間ぐらい話して頂いても良かったと思います。

【これまでの未来志向型介護経営研究会テーマとゲスト講師】

第1回 2016年6月17日(金)	診療報酬改定が「介護現場」に与える影響と経営戦略	遠藤正樹氏 (医療法人社団康明会常務理事、法人本部長)
第2回 2016年9月23日(金)	2018年度の診療報酬・介護報酬同時改定に向けた課題	宮島俊彦氏 (岡山大学客員教授、元厚生労働省老健局長)
第3回 2016年10月21日(金)	介護業界“大再編”のゆくえを占う！ 介護業界のM&Aの傾向と展望	今市遼佑氏 (株式会社日本M&Aセンター営業本部 医療介護支援部)
第4回 2016年11月28日(月)	ヘルスケア産業政策の方向性から読み解く！ 「介護サービスの将来像」	江崎禎英氏 (経済産業省ヘルスケア産業課長)



将来、マネジメントに携わり、
次の世代を担う人材確保・育成に尽力したい

中村 光晴 ●なかむら・みつはる

社会医療法人愛仁会
ケアプランセンターケアアイ(大阪府高槻市)介護支援専門員、
介護福祉士、介護福祉経営士2級

開業医との情報共有に リーダーとして取り組む

私は、大阪府高槻市にある社会医療法人愛仁会ケアプランセンターケアアイでケアマネジャーとして勤務しています。以前は、別法人の特別養護老人ホームで介護職として勤めていました。その後、ケアマネジャーの資格を取得し、5年前に5,000人の職員を擁し、大阪府、兵庫県で27の医療・介護の事業所などを展開する愛仁会グループに入職しました。

現在、約40人のケアプランの作成を担当しています。作成にあたっては、地域の開業医をはじめ、介護職やセラピストなど、法人内外の多職種との連携を重視しています。それぞれの体の状態に合わせて担当者会議を柔軟に開催し、適切な情報共有に努めています。

また、2年前には、地域の開業医との連携を深めるプロジェクトのリーダーを務めました。それまでは、ケアマネジャー個人が、開業医と連携していましたが、事業所全体で連携を深めようという取り組みです。訪問診療をしていただいたり、担当医になっていただいている開業医と一人ひとり面談をして、スムーズな連携方法を模索。連絡方法は電話がいいのか、ファックスがいいのか、それともメールか。連絡する時間帯はいつがよいのか。開業医それぞれの状況を把握して、事業所全体でスムーズな情報共有体制を構築しました。現在も引き続き、より有効な体制づくりに注力しています。

資格取得により キャリアプランも明確に

インターネットなどを通して、介護福祉経営士については、

特別養護老人ホームに勤めていた頃から知っていました。当時、介護職の離職が喫緊の課題であったため、その解消法の一つになるのではと、関心を持っていました。介護福祉経営士の資格を取得することで、介護職のキャリアプランも明確になるのではと考えていたのです。

そして自身が受験する直接のきっかけになったのは、同法人に入職後、上司のケアマネジャーが、併設する介護老人保健施設ケアアイの事務長に抜擢されたことです。それを目の当たりにして、私も将来、マネジメントに携わりたいという気持ちが強くなりました。その上司に相談したところ、受験を勧められ、2016年2月の資格認定試験に合格しました。

受験勉強に関しては、試験日がかかなり迫ってから受験を決意したので、時間が十分にありませんでした。そこで、ケアマネジャー資格を取得したときの知識を生かし、できるだけ分かる範囲から効率よく勉強したことが合格につながったと思います。

管理職の意図を理解し 積極的に提案も

資格取得後、一番大きく変わったことは、施設のマネジメントに携わる管理職からの指示の意図を経営の面から理解できるようになったことです。また、それに応じて、自分からも積極的に提案も行えるようにもなりました。

将来はマネジメントに携わり、資格取得によって得た知識を活用して、次の世代を担う人材確保・育成に尽力したいと考えています。そのためにも、将来的には1級取得も視野に入れています。さらに、関西支部の研究会などを通して、さまざまな法人の管理者や施設長の方などの意見や考え方も吸収していきたいと考えています。

2017年度 「介護福祉経営士」資格認定試験の日程決まる

「介護福祉経営士」資格認定試験(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会)の2017年度試験日程が公開された。

第13回 2級 2017年 7月9日(日)	第14回 2級 第4回 1級 2017年 11月12日(日)	第15回 2級 2018年 3月18日(日)
------------------------------------	---	-------------------------------------

「介護福祉経営士2級」は年齢、学歴、国籍等の制約や保有資格、介護職の経験の有無にかかわらず受験することができる。「1級」は、「介護福祉経営士2級」の資格認定を受けること。
試験に関する情報は、同会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/>)にて随時公開していく。

■「介護福祉経営士2級」資格認定試験概要

受験料	8,000円(税込)	出題問数	40問
出題形式	多肢選択式、マークシート記入	試験時間	60分
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません (成年被後見人および被保佐人でないこと)		
試験会場(予定)	札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・福岡		

介護福祉経営士2級試験
のご案内

介護福祉経営士
1級試験 準拠
実践編 全11巻
価格:25,710円(税込)

介護福祉経営士
2級試験 準拠
基礎編 全10巻
価格:23,660円(税込)

開催決定



第2回

全国介護福祉総合 フェスティバル in 横浜

地域社会における新たな介護文化の
創造・発展を求めて

——今こそ必要な世代間の相互理解と融合

2017年
夏
開催!

来年度の「全国介護福祉総合フェスティバル」開催が決定！詳細は決定次第、当会ホームページ等にてご案内いたします。



Vol.3

「介護福祉のみらい」作文コンクール

最優秀賞作品掲載

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う小学生、中学生、高校生に、介護福祉の大切さを知り、未来について考える機会をもってもらうことを目的に、2016年に「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施しました。前号に続き、高校生の部で最優秀賞を受賞した作品を掲載します。

老人介護について

大分県立佐伯豊南高等学校福祉科2年 河野 柚花

今、日本の高齢化が進んでいます。その中で、介護を必要とする老人が増えているのに対し介護職員の数が足りていないという現状にあります。

連日のようにニュースで取り上げられている介護職員による利用者への暴力・暴言など利用者に対する虐待が行われています。介護をするということがどれだけ大変かは良くわかりますが、そのようなニュースで、「介護」そのもののイメージが悪くなっていつているように感じます。私は福祉科に入る前、介護は「面倒くさそうだな。」と思っていました。

私は人見知りですと人と話をする事が苦手でした。ですが、実習に行くと利用者さんの歩行介助のお手伝いで利用者さんと手をつないだ時に利用者さんに嬉しいと言われ

た時に介護に対する概念が変わりました。「介護は面倒くさいもの。」と思っていたけど、そうではないと思いました。介護とは利用者さんも自分も幸せになるものなんだと思いました。もちろん大変な仕事であることには違いありませんが、それと同時に、「やりがい」を感じるものなのだと思信しました。相手を幸せにして自分も幸せになるという介護はとてもすばらしいものだと思います。

もしも自分が高齢者になった時、介護をする人がいないのではないかと考え、今、介護の必要性を見直すべきであるのではないと思う訳です。

最後に、将来を担う我々は介護福祉から目を背けずに介護を必要とする人の援助をしていく必要があるのではないかと思います。

「注目の！」
特集

どうなる？「混合介護」 介護事業者が繰り出す 一手を探る

2016年9月に公正取引委員会が「混合介護の弾力化」を求める提言を発表後、「混合介護」の議論が活発化している。本特集では、混合介護へ深い見識をもつ方々による座談会、混合介護の実例などを通じて、介護従事者にとっての「混合介護の弾力化」のメリット・デメリットを探る。合わせて、介護事業者や関係者に対するアンケートも実施。「混合介護」に対する現場の率直な意見を紹介する。

高瀬比左子氏（未来をつくるkaigoカフェ代表）がホストを務める対談「地域づくりは人づくり」は、Special版として安倍昭恵氏（内閣総理大臣夫人）が登場。



最新介護経営 わかる・使える・明日が見える

介護ビジョン 2

特集 どうなる？「混合介護」
介護事業者が繰り出す
一手を探る

地域づくりは
人づくり

2017年2月号
(2017年1月20日発売)

詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価：1,296円(税込)
- 定期購読料：15,552円(税込)

今月の
書籍紹介

これからの医療と介護のカたち ～超高齢社会を明るい未来にする10の提言～

在宅医療の現場から見た地域の課題を明らかにし、予測される日本の未来に対するソリューションを提言する。

急激に増加していく後期高齢者と、介護施設の不足、増え続ける医療介護費……。とくに首都圏には、避けることのできない厳しい変化が待ち受けている。しかし、在宅医療を含む地域医療とケアの体制は、この超高齢化に適応する準備ができていない。

私たちはどうあるべきなのか。

未来のために自ら行動するオピニオンリーダーたちにそのヒントを求めた。

気鋭の在宅診療医が、医療と介護の最前線で活躍する24名の賢人との熱い議論を通じて、超高齢化が進む日本の未来を探る。

主な対談者は、辻哲夫氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）、森田洋之氏（南日本ヘルスリサーチラボ代表）、秋下雅弘氏（東京大学大学院医学研究科加齢医学教授）、山崎泰広氏（株式会社アクセスインターナショナル代表取締役会長）、山崎亮（studio-L代表）、堀田聰子氏（国際医療福祉大学大学院教授）、上野千鶴子氏（認定NPO法人ウイメンズアクション ネットワーク理事長）など。



10	1	世界初の「長生きして良かった」と言える社会を完成させよう。
9	2	“人が生きることの全体”を支えるために地域と一体化しよう。
8	3	多職種で最適な役割分担を実現し、新しい医療をつくりあげよう。
7	4	本邦の「健康寿命」を延伸するために、「自立」の定義を見直そう。
6	5	認知症に対する最大の障壁である誤った固定観念を払拭しよう。
これからの医療と介護のカたち		
5	6	専門職自身も生活者としての自分を大切に生き、人間関係を築めよう。
4	7	援助の本質を理解し、看取りを支える社会をつくりあげよう。
3	8	制度リテラシーを高め、社会保障制度をしっかりと使いこなそう。
2	9	生活者が地域に必要とする場やサービスの創造に寄りかかろう。
1	10	ポジティブな生き方を変える産業を創造し、世界をリードしよう。

佐々木 淳 編著
(医療法人社団悠翔会理事長)

- 日本医療企画
- A5判、並製、362頁
- 2,000円＋税

INFORMATION

理事会、支部、事務局からのお知らせをお伝えします

📢 身売り・乗っ取りから事業承継・成長戦略へ M&Aの傾向と展望を学ぶ

関 東支部は、2016年10月21日(金)、第3回未来志向型介護経営研究会を開催。講師に今市遼佑氏(株式会社日本M&Aセンター 医療介護支援部)を招き、「介護業界大再編のゆくえを占う! 介護業界のM&Aの傾向と展望」をテーマに掲げて行った。

同氏はM&Aに対する認識としては、無知(身売り・乗っ取り)から浸透(事業承継)、そして周知(事業承継・成長戦略)に移っていること、年々厳しくなる介護経営を取り巻く環境から介護事業者の倒産件数が増加している現状を説明。さらに、介護費9兆円のうち上位20社で7%しかシェアがなく、差引き8.3兆円市場が再編対象であり更に拡大すること、撤退も成長戦略の一つの選択で大事なのはタイミングであること、M&Aについては早すぎるということはなく自社の方向性を考えた上で選択肢を検討してみることを、などを事例をふんだんに解説した。

最後にM&Aの進め方と注意点について、介護事業は許認可事業であり、介護報酬請求や労務状況には細心の注意を払うこと、第三者の評価と優先順位付けが大切だと語り、締めくくった。



📢 生涯現役社会の構築と 地域に根ざしたヘルスケア産業の創出

関 東支部は2016年11月28日(月)、「ヘルスケア産業政策の方向性から読み解く!『介護サービスの将来像』」をテーマに第4回未来志向型介護経営研究会を開催。講師の江崎禎英氏(経済産業省ヘルスケア産業課長)は、冒頭、高齢化が急速に進み、社会保障費の拡大が財政を圧迫する要因となるとともに、労働力の減少による経済活動の停滞が懸念されるなかで、少子化対策、外国人労働者の受け入れは、いずれも重要な政策課題であるが抜本的な解決策にならないと解説。戦後ゆたかな経済社会が実現し、平均寿命が約50歳から80歳に伸び、一世代分の国民が出現したいま、平均寿命の延伸に対応した「生涯現役」を前提とした社会経済システムの再構築の必要性を説いた。

また、ヘルスケア分野においては、様々な異分野連携を行い、地域住民の生活に近い地域資源を活用した独自のヘルスケ

ア産業を創出し、広く活用される状況をつくることが重要であると力説。参加者からの質問も飛び交い、目からうろこが落ちるような新鮮な視点や発想が多く、大変有意義な研究会であったといった声も上がり、盛況のうちに幕を閉じた。



介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

関西支部

医療経営士・介護福祉経営士 関西支部合同研究会 坪ゼミ 医療・介護現場の問題解決法

医療や介護の現場で日々発生するさまざまな問題を科学的な考え方・手法によって解決することは、問題再発を防ぐだけでなく仕事の効率を上げ、現場改善にチカラを発揮する。本ゼミでは仕事の質を向上させるための基本を学ぶ。

- 日時：2月18日(土)、3月18日(土)、4月15日(土)、5月20日(土)
全4回14:00~17:20
- 講師：坪茂典氏(社会医療法人愛仁会本部介護福祉事業部長、
社会福祉法人愛和会本部統括部長)
- 会場：新日本有限責任監査法人大阪事務所セミナールーム
(大阪府大阪市北区角田町8番1号 梅田阪急ビルオフィスタワー37階)
- 参加費：協会会員全4回10,000円 各回参加3,000円
- 定員：50名※定員になり次第、締切。
- 主催：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会、
一般社団法人日本医療経営実践協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社
TEL.06-7660-1761

日本医療企画

対象 有料老人ホーム、高齢者住宅経営者

介護サービスの質を高めるイノベーションを探る 戦略的介護経営セミナー

いかに介護サービスの質を高めながら、業務の見直しを進め生産性を向上させるか、そして地域における中核拠点としての役割・機能を充実させるか。今後の介護経営に必要な戦略を制度面の解説と実践的なノウハウから探る。

- 日時：2017年3月9日(木) 14:00~17:20
- 基調講演：川淵孝一氏(東京医科歯科大学大学院教授、
一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事)
- 会場：コニカミノルタジャパン株式会社 セミナールーム
(東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング)
- 参加費：無料
- 定員：100名※定員になり次第、締切。
- 共催：コニカミノルタ株式会社、株式会社日本医療企画
- 後援：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会、
一般社団法人日本医療経営実践協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画
TEL.03-3256-2885

日本栄養経営実践協会

第2回全国栄養経営士のつどい 栄養経営士が創る医療・介護の将来像

2回目となる「全国栄養経営士のつどい」を福岡で開催。基調講演や特別講演のほか、日々の業務においてどんな工夫をし、どのような結果を出しているのか、栄養経営士による実践活動報告が行われる。

- 日時：2017年3月12日(日) つどい10:00~16:50、懇親会17:05~18:50
- 内容：
基調講演：栗原正紀氏
(一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院理事長)
特別講演①：佐々木淳氏(医療法人社団悠翔会理事長)
特別講演②：長英一郎氏(東日本税理士法人代表社員、所長) ほか
- 会場：パビヨン24ガスホール(福岡県福岡市博多区千代1-17-1)
- 参加費：事前参加登録：一般6,000円、懇親会5,000円
当日：一般8,000円、懇親会6,000円 ほか
- 主催：一般社団法人日本栄養経営実践協会

お問い合わせ 一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL.03-5289-7021

日本医療企画

経営企画と広報を考える会 (3日目 経営計画の立案と広報)

地域医療で担うべき役割の明確化や地域づくりへの参画など医療機関が抱える課題を解決するためには、経営企画室と広報との協調が求められる。本会では、両者の協調により成功した事例をもつ医療機関から講師を迎え、経営企画と広報が担うべき実践活動について考える。

- 日時：2017年3月25日(土) 14:00~16:00
- 講師：秋吉裕美氏(製鉄記念八幡病院経営企画室・係長)
- 会場：日本医療企画九州支社セミナールーム
(福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目3-6 第三博多借成ビル5階)
- 参加費：単回参加8,000円
- 定員：15名(事前申込が必要)
- 主催：株式会社日本医療企画
- 後援：日本医療経営実践協会九州支部

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 九州支社
TEL.092-418-2828

日本栄養経営実践協会 北海道支部

日本栄養経営実践協会北海道支部設立記念セミナー 栄養部門が変われば病院・施設が変わる！

今、管理栄養士には、美味しく心身に癒される食事の提供はもちろん、適切な栄養管理で治療にいかん貢献し、経営の一翼を担えるかが求められている。スキルや知識を最大限発揮し、活躍するためには何が必要かを共に考え、理解を深める。

- 日時：2017年3月25日(土) 13:30~16:15
- 内容：
基調講演：児玉佳之氏
(医療法人社団佳生会こども在宅内科緩和ケアクリニック院長)
特別講演：佐藤亮介氏
(社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院 管理栄養士) ほか
- 会場：TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前
(北海道札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館5F)
- 受講料：一般3,500円 ほか
- 定員：100名※一定の人数に達しない場合は中止することがあります。
- 主催：日本栄養経営実践協会北海道支部、株式会社日本医療企画北海道支社
- 後援：一般社団法人日本栄養経営実践協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 北海道支社
TEL.011-223-5125

介護事業経営研究会

2018年介護保険法改正の全部解説 激動の次期介護報酬改定の行方と介護保険外サービス

2018年は介護保険法改正、介護報酬と診療報酬改定と、過去最大規模の激変が必至。新たな経営の柱として、全く新しい介護保険外の導入の考え方や最新の動向を網羅する。

- 日時：2017年3月6日(月) 13:30~16:30
- 講師：小濱道博氏(小濱介護経営事務所代表)
- 会場：柏パレット(千葉県柏市柏1丁目7番1-301号)
- 受講料：一般3,000円、C-MAS会会員2,000円
- 定員：30名※定員になり次第、締切。
- 主催：介護事業経営研究会 千葉東葛支部

お問い合わせ 介護事業経営研究会 千葉東葛支部
TEL.04-7168-2300

